



詩画集

まゐだだヨ



やまのうえの むらひと
山上 村人



もくじ

自分への説教	
忍法自分消	
お変わりあります	
まあただヨ	
隠れんぼ	
一粒万倍日	
物語り	
大悲	
ピエタ	
モアイ像	
留守の家	
発見	
囃子ことば	
タンポポ	

3 0	2 8	2 6	2 4	2 2	2 0	1 8	1 6	1 4	1 2	1 0	8	6	4
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---	---	---



驚の目

もしかして

アイヌ ネノアン アイヌ

青い空がいい

旅の途中で

蝉が消えた夏

絶滅危惧種と繁殖危惧種

第一志望 魔法使い

盆踊り

私の友人達

夢の世界

ごめんなさい

追補

5 4	5 2	5 0	4 8	4 6	4 4	4 2	4 0	3 8	3 6	3 4	3 2
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------



自分への説教

身の回りに苛立つ^{いらた}人が居る

その性格を直して貰えればいいのだが

大概ムリです

指摘すればば争いになる

昔の殿様や王様ならそんな人間は地下牢に閉じ込めるか殺してしまう

余裕のある会社はそんな人間を遠隔地に飛ばす

それが出来ない人はどうしたらいいのだろう

そんな人には近寄らない事だが

家族や会社や近隣だとそうもいかない

我慢しか残らない

でも我慢していると病気になつてしまう

そこで先哲^{せんてつ}の智慧を仰いだ

「バカな子と遊んでいるとバカになる」



これは二千三百年前の遺伝子工学の権威孟子の母の智慧である ※

愚かな者と同じ土俵で戦っていると

いつか思考ウイルスに感染して自分も同じ人間になってしまうのだ

それ故昔の志の高い者は猥雑な世間を捨てて荒野に出かけ

飢えに耐え、寒さに耐え滝に打たれて修業した

学ぶものには具体的な環境教材が要るのだ

絵に描いた多くの賢人、聖人のお姿もよいが

周囲みな自分より勝れている者ばかりだと萎縮してしまう

そこで情け深い神さま(仏様)は謀を巡らせ反面教師を派遣したのだ

バカな子になつて欲しくない弟子達に

もののけ達に人間の皮を被せ出来の悪い弟子の身边に配属し

弟子達が自主的に獣道より人道を選ぶよう仕向たのである

ありがたや (以下宗旨混同)

キリストが全ての罪を負つて下さったので

我ら凡俗は難行苦行の必要がないのである



忍法自分消にんぼうじぶんけし

この世の苦の原因は自分である

自分を滅めつすれば全ての苦は消滅するというのが

その方法が難儀である

欲望を捨て座禅、瞑想等の修業しゆぎやうに励みます

運が良ければ羽が生えて何処かへ飛んでいつてしまいます

その自分の抜け殻がサトリの境地だといいます

「ホントカナ」

近くの老人施設では

座禅、瞑想等の修業せずに全て忘れてしまった方がいます

今朝の食事を忘れた人

家族や帰る家を忘れた人

ついには自分の年齢と名を忘れた人

ここまで来るとしめたもので名僧知識めいそうちしきと遜色そんしやくありません

散歩に出たまま帰つてこない方は

途中で見た夕焼け雲や鳥になつているのです

私の瞑想の結果報告です

(但しお酒を飲んで瞑想した時)

いつの間にか空中浮揚し自分を俯瞰ふかんしてました

私は自分の身体を眺め「エంగాチョ」と呟きました ※

足腰の悪い自分に帰るのが嫌になつたのです

私は壁を抜け屋根を越えて時空の旅にでました

しめ縄を巡らせた大きな木があつたのでそこに止まると

「ここはオレの縄張りだ」と白い髭のお爺さんに叱られました

驚いて立ち去りました

私はよく野草や昆虫に変身します

風も無いのに揺れている花や

目玉をキョロキョロしているギンヤンマ等

もし、見つけたらそれは私です



お褒りあります

「大きくなりましたね」 (子供用)

「美しくなりましたね」 (女性用)

これは言われて嬉しい言葉です

言わない方がよい言葉があります

「また太りましたね」

「めつきり皺が増えましたね」

本人が過剰に気がつけていることです

一番大事なのはその言葉により

貴方が無神経な方であることがバレる事です

お互いに知っていることで言つてよい言葉があります

「よか天気ね」

「ほんまに」

「んだな」

お変りしないものではありません

このまえ満月だったお月様は

今夜は情けなさそうに半欠はんかけです

今年の桜前線は小雨の桜祭りには間に合わず

平日の火曜日河原で一人満開でしたが今は葉桜です

何をお隠しいたしましょう

私はインベーターではありませんが

半年前の私ではありません

私の身体からだの細胞は90%以上変っています ※

部位により日々1%、50%トイレに消えているのです

(毎日がお誕生日と葬儀です トホホ…)

嬉しいお変りもあります

階段下に朝顔の芽ができました

今年も朝顔の花が私を出迎えてくれるでしょう



まあだだヨ

子供は熱い風呂が苦手だ

せめて十数^{とお}えるまで肩までつかれという父がいる

いち にい さん しい …

もういいでしょう まあだだヨ

介錯^{かいしやくにん}人は既に準備ができていた

もうよかろう あいやしばらく

サムライは辞世^{じせい}の下^{しも}の句が思いたせなかつた

…この世をば 露^{つゆ}の世と知り いざさらば…

上の句は思い出したが下の句が思い出せず

サムライは困っていた

介錯人が耳元でささやいた

「…後はあの世で ごゆるりと」では如何なものか

サムライはムツとして筆を置いた
歌無しでいくことにしたのである

既に平均余命も越えていた

遺産相続も無事すんでいた

壁には栄誉の額縁が並び何時死んでも支障はなかった
今月あたり如何いかですか と親族のものが水を向けた

未練がましい男がいった

軒のツバメが巣立つまで まあただだよ

朝顔の花が咲くまで まあただだよ

月が丸くなるまで まあただだよ

月下美人が咲いたら もういいよ



隠れんぼ

隠れんぼのルールがあります

子供達が隠れるまで鬼は目をつぶっていること

もう いいかい

まあただヨ

もう いいよ という声がしたら

鬼は声^{ほう}がした方に探しに行きます

何時も傍にあるものはあたりまえになつてしまいます

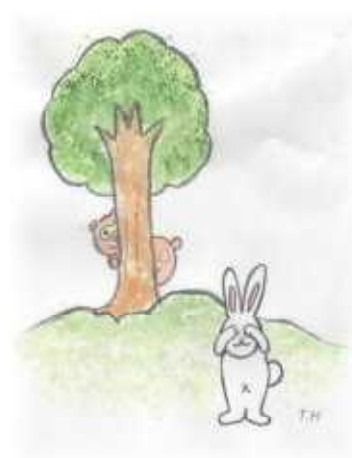
あるものの大切さは無くなつた時分ります

目がある 耳がある

手がある 足がある

今どこも痛くない

そんなことがしみじみ「幸せ」という人は



昨日まで痛みが続いた人です

良寛さんは 子供達の隠れんぼで

難しい場所を探していました

もういいかい まあだだよ

もういいかい もういいよ

良寛さんは農家の納屋に隠れ

何時の間にか寝てしまいました

良寛さんが目を覚ましたのは

子供達が諦めて帰った後でした

良寛さんを見つけたのは満月でした



いちりゅうまんばいび

一粒万倍日

一粒万倍日は真冬でも真夏でもあります

「一粒の麦」のたどえは聖書ですがこの語源は「報恩経」ほうおんぎょうです

季節に関わらず時^まけるのは心の畑です

明日誰かを喜ばすために

一ヶ月後、一年後誰かを喜ばすために

何か考えること 始めることは楽しい

人を喜ばせるのは大勢より一人がいいのです

そして大きな事より小さなことがいいのです

人は複数になると難しくなります

大きな事より小さなことがいい理由^{わけ}は

小さなことなら一人でできます

人が喜ぶ顔はいいです

それを見て自分も幸せになれます

何かして貰うことに慣れている方達がいいます

大きな会場での賞賛に慣れている人

飢えてない人に一切れのパンはムダです

金を使い時間を使い

あやかりの為に権威ある人の群れに連なる人がいいます

種を蒔く時の注意事項があります

岩の上や茨の中などは幾ら蒔いても育たない

種は良い土地に蒔きなさいとルカ伝に解説があります

些細なことでも喜んでくれる人がいいます

小さなことでもよく覚えていてくれる人がいいます

一万倍は嘘ではありません。

百倍の種はその翌年には万倍になります



アキアネ・クラマリック

物語り

いつの間にか川岸の舞台が暗転していた
桜の季節が過ぎ今は葉桜の緑が美しい
自然も人も変つていくのが楽しみ

風がページをめくる

時が幕を下ろして一つのおろ物語りは終る

桜には桜の物語りがあり

人には人の物語りがある

苦難が報われた老人の物語り

自分は誰か 病床で眠れぬ人

良い物語りは何幕かで構成される

一つの幕が降りるので次の幕が開く

王子様と王女様だけではドラマにならないので
舞台上上がる人には何か役割がある

始めから終りまで登場する人

始めの一幕だけ登場する人がいる

この世の試練が不要ですぐ天国に呼び戻された赤ん坊や子供達である

スポットライト浴びる人はわずか

顔の见えない多くの人が舞台裏や観客席にいる

物語りの評価はそれが本当かどうかではなく

面白かったか 退屈だったかである

舞台のドラマが日々の世界と同じならば観客は帰ってしまう

嘘でもいいのです

ハッピーエンドでなくていいのです

自分にならない美しいドラマであり

美しい音楽があれば

観客は立ち上り拍手を惜しまない

ここだけの話



大悲だいひ

手を取りあつて鉄道自殺した老女のニュースが流れた

九十代と七十代の姉妹であつたという

柵があつたという補足があつたがそのお金で助かる人が大勢いる

宗教では自殺は大罪である

仏教では自殺者は無間むげんじごく地獄に落ちる ※1

キリスト教、特にカトリックでも自殺は大罪たいざいである

「死んだ氣になつて」という激励があるが

少しでも長く生きたいのが人情なのに

苦痛に耐えかねその貴重な命を自ら捨てる者がいるのだ

その人達に何故そうまで言うか

釈迦もキリストもそんなことは言つてないのだ ※2

人が安易に自殺をしないための方便であつたものが

教師達が救いのない人達に最後の苦しみを与えた ※3

イエスはパリサイ人^{びと}が嫌いだつた

パリサイ人は何処にでもいる

上から目線で規則を作り監視するのが生き甲斐の人達である

イエスはそんな姿が見ていられずこの世に降りてきたのだ

私は見てるだけでまるで無力だが刑場に群がり石は打たない

学歴、博識、名無しの私が敢えていう

神について私は知っている事が二つある

その方は私より「仁義」に厚い方であることである

だから私ですらないことをする筈がない

宗派を超えた私の神は宗教に捨てられ冷くされた人達を

「辛かっただろうね」優しく迎えるはずである

ところで人を造つた神はいるかいらないか

人の作つたAI（人工知能（Artificial Intelligence）に訊ねる ※4

AIは笑つて答えるだろう「その人の好む定義による」



アキアネ・クラマリック

ヒエタ

母の元に帰つて来たのは死骸であつた

いまは吸う息も吐く息もなく

死後硬直も始まつていた

マリアの腕に帰つたイエスは死んだ人の子だつた^{ひと}

奇跡を起こし人の命を救い神の子といわれたのに

人の子の流した血は黒ずみ

全く死んでいた

泣くことも叫ぶこともできない

何かが始まる前の

闇の中で言葉が消え時間が止まつていた

※

ピエタ イタリア語で悲しみ。磔^{たっけい}刑に処されたのちに十字架から降ろされたイエス・キリストと、その亡骸を腕に抱く聖母マリアをモチーフとする宗教画や彫刻などのこと



ピエタ ミケランジェロ作

モアイ像

この世界には人の力を超えたものがある

天候 災害 疫病 …

災害を引き起こす神の姿は誰も見たことがないが

人々は雷鳴の中に人の世の横暴な王を連想した

暴君の怒りをなだめるのは供物くもつや生贄いけにえであつた

人々は礼拝のための神の像すがたを刻むことにした

しかし神の姿は誰も見たことがなかつた

誰も知らない神の姿はその属性ぞくせいから想像した

その面影は畏怖いふすべきものであつたので

時には猛獣の姿でもあつたが王の王の神は人の面影おもかげが必要だつた

人々は石を削りながら話した

「そんな優しい姿ではない」「人間より巨大であるはず」

出来上がった怪異かいいな姿に人々は納得した

多くの神は海を背に人々を見守ったが

海の彼方を見ている神もあつた

以下この島の略歴である

1722・4・5日 オランダ人提督ヤコブ・ロツヘーンがヨーロッパ人として初めて上陸
たまたま復活祭の日であつたのでイースター島と命名した

1680、1722 モアイの終焉しゅうえん

淡路島ほどの島が十二の部族に別れて争い千体のモアイの全部が引き倒された
人によつて作られた神は人によつて破壊されたのである

1805、1879 奴隷狩り

ペルーからやつてきた九十人の奴隷商人が男女千五百人を奸計で捕虜にして連行

その後ペルーで重労働を強いられ六百人死亡

拉致らちを免れた島民も疫病により一万人以上いた島民は1877年1111人に激減えきびよう

1964 独立運動 現在チリの特別区

因みに現在復元された十五体は日本企業「TADANO」が文字通り無償で復元した



留守の家

人が住まなくなった家があります

広い敷地に家が三棟もあり

家族が住んでいましたが一人去り二人去り

今は最後の一人が老人施設に入りほぼ留守です

郵便箱は口を開けたまま

時々木の葉や花びらが舞い込みます

広い庭には季節毎に花が咲きます

植物だけは何処にも行かずお留守番です

ひとしきり梅が咲き、散りました

今は躑躅^{つっじ}が真っ赤に咲いています

土の庭の世界は昔と同じです

蟻^{まわ}やトカゲがしきりと歩き廻り

アリジゴクが獲物を狙って息を潜めているでしょう（前世はオマワリさんです）



相変わらず訪れるのは蝶や野鳥です

夕方になると玄関に灯がともります

銀座の灯りの始めはガス灯です

暗くなるとガス灯がともり朝方に消えたのは

「点灯夫」が消して歩いたからです

人が住まなくなった家の玄関に灯りがともるのは

自動点滅器のせいです

風も無いのに花が揺れるのは誰かが来ているからです

鳥や人が来ています

…花はあの世も同じです…

花影から昔の人が手を振っています

ここは百年前は深い松林でした

夜になると今も屋根の上を月が通ります

五千年前　すぐそこまで海がきていました

天気の良い日は幻の力モメが弧を描いて帰ります



発見

作ったモノを見れば作った人が分かる

ルーブルや上野美術館に行かずとも

天才アーティスト達の作品は道端に見られる

日々の散歩道でフト足を止めることがある

今盛りの一輪の野草の美しさに驚愕する

食べたものを見ればその生きものが分かる

タイを釣るにはタイのエサをつける

(疑似針に掛った魚は悲惨だ。泣いても泣ききれない)

私は空き地に蒔いたエサで鳥の種類が分かる

選んだモノを見ればその人が分かる

内側が無い人はせめて外側を飾る



選者という者がいる（選ぶ者、選ばれた者） ※

人並み外れた者が壇上に上がる

世界が選者のカラスポットで無象界むしようかいから顕在化けんざいかする

選ばれた者が複数になると問題だ

特に双方の権威が大きいと庶民の悩みは深まる

教祖の違いは戦になる

「見れども見えず 聴けども聞こえず」

論語にも新旧聖書にあるので粘土文字にもありそう

自分の中に無いモノは無い

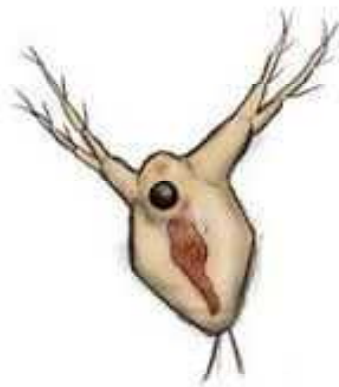
人間の世界からミクロ、マクロの世界を覗くと

面白くて 難しくて 不思議

虚空こくうから生まれでるモノがある

拡大鏡で小さな虫を見ていたら声がした

「見て、二つ目のへんな生き物がこっちを見ているよ」



ミジンコ

はやし
囃子ことば

「いーけないんだ いーけないんだ

ノビタ君はいけないんだ 先生にいつてやろ」

しーらんぞ しーらんぞ みほちゃんを泣かした

ゆうてやろ ゆうてやろ 先生にゆうてやろ

わーるいんだ わーるいんだ あーらら こーらら

この囃子言葉は昭和初期から日本各地にあります

規則を作るのが好きな人種がいます

その規則を監視し摘発するのが好きな人種がいます

罰を実施するのが好きな人がいます みな同族です

一番悪いのは悪人の顔をした悪人ではない

この人達はこの世で半分支払を済ませています

無事この世を退職した彼等に天罰が下るのは初七日しよなかのあとです

受付に並ぶのはこの世の規則では裁かれない人たちです

愛を説くキリストが嫌いだつた。パリサイ人^{びと}達です

著名人、学者、官僚、美人、不美人、芸能人もいます

盛大な葬儀を済ませると付き人が誰もいない人がいます

いけない 官僚がいます

いけない マスメディアがあります

情報操作し意に沿わない人は出演させないメディアがあります

録画した内容は主催者の意向で編集されています

仕置人^{しおきにん}が必要ですが藤田まことは既に故人です

御老公の一行が去つた村には間もなく悪が蘇^{よみがえ}り

悪代官も越後屋も無事繁栄しています

「いけないんだ いけないんだ 神様にいつてやろ」

あの世の神様のお仕置きを夢想します

自分で気がつくまで校庭を十年間マラソン

「もうしませんから勘弁して下さい」と百年間楷書で反省文を書く

迷惑をかけた人の逆の立場で再生し十倍の時を過ごす



秩父22番札所 童子堂

タンポポ 1

美しい花も咲いた後は寂しく萎れるのに

タンポポの旅立ちの姿は素晴らしい

花の時はバラには及ばないが

花のあとで孢子ほうしを丸く飾った

あなたのアイデアに感嘆する

私もいつか旅立つ日がある

美しい旅立ちの姿を様々考えていた

そんな思いのなかで逢いたい人がいた

今日道端でああなたに出逢った

タンポポ 2

タンポポの綿毛は百以上ある



(強大な空母の飛行機やヘリの搭載数^{とうさいすう}は百未満である)

タンポポの胞子は微風に乗り1km四方に着地するが

生存率は一%に満たない

生きものは雀も鰯^{いわし}も数知れず生まれて死ぬ

…海行^ゆかば 水漬^{みづ}く屍^{かばね} 山行^ゆかば 草生^むす屍^む …

人もまた大量に死ぬことがある

〈何故と問う^{なか}勿れ〉それが歴史である

著名な人物は一冊以上の書物になり石像になる

山で死んだ男は石を積まれてケルンになる

一度に大量に死ぬと人は一行にもならず小石にもならない

大津波の前の日の夕べ

ベランダの花が夕日^{なごり}と名残^{なごり}を惜しんでいた

原爆で崩壊した浦上の天主堂の前夜 ※

叢^{いぢみ}では新月の深い闇^{くみ}のなかで

虫達が夜更けまでロザリオ^{とな}を唱^{とな}えていた



鷲^{わし}の目

鷲は何故^{けんかい}狷介な目つきをしているのだろう ※1

常に虐^{さげ}げられてきた者が

敵意^{さいきしん}と猜疑心に満ちた目をしているのなら分かる

時々通り魔という何かに憑依^{ひょうい}された人間が現れ

理由もなく人を殺傷する

過日も路上で暴漢に襲われた老女が瀕死^{ひんし}の重症を負った

無作為^{むさく}に選ばれた犠牲者は暴行を受けながら

「ごめんなさい ごめんなさい」と叫んでいたという

何も悪いことはしていないのに…

人が謝るのは思い当たる悪事があるからだ

気弱な泥棒は次々と犯行を自供する

果ては死んだ女房^たを叩いたことまで

「もう少し 優しくしていたら…」と涙ぐむ



ドロボーは肩を叩かれ煙草一本恵まれカツ井まで喰わせて貰う

本物の悪党は「ごめんさい」等そんなことは言わない

白い手袋で大衆に笑顔向けTVの前では嘘をつく ※2

既に自分までも騙だましているのでポスターが笑っている

学者、芸能人、マスメディアETCこの世は仮装会場である

空中の覇権者はけんしやである鷹が不満なのは

地上にライオンや灰色熊こしやうがいるからか

河川や湖沼にはアリゲーターが居るからか

不思議に鷹の餌食になるものは

小鳥、リス、魚達みな丸い優しい目をしている

人の世の始め悲しみを嗅かぎつけた悪霊あくりようが幼い心を食い荒した

鷹はこのような姿にした悪霊に怒っているのだ

古来から獣姿けものすがたを旗印に掲げる種族がいる

人の群れを率いるには獣けものの力が要る ※3

「ハプスブルク家」は鷹を紋章にして栄えた



もしかして

自分に嬉しいことがない人は
他人の笑顔をみるといい

好みの曲ばかりではないけれど

NHKのど自慢は楽しい

鐘三つを鳴らせた人の喜びよう

飛び上がり 抱きつき 涙して

喜ぶ母、祖父母、兄弟姉妹、仲間達：

見ていると自分まで嬉しくなる

不幸な人は他人の幸せをみるといい

買い物に幼子を連れている母娘の姿は

この世で一番美しい

何処かで笑つてゐる人がいる
どこかで泣いてゐる人がいる

人の喜びを自分の喜びにすると
喜びはそれだけ増える

人の悲しみを自分の悲しみにすると
悲しんでいる者達の世界が広がる
大勢の仲間がいることが分かる

この世界の歴史に神はいない
天界にも 素粒子界にも
いるならここにいます



秩父金昌寺 幼児像

アイヌ ネノアン アイヌ

アイヌの神はいたるところにいる

古神道の世界であり縄文の世界である

太陽や月、山野、生きものたち全てカムイである

カムイは家の中で人と同居している

家の神(チセコロカムイ)火の神(アペフチ)うつわの神(イオイベカムイ)
囲炉裏の両側には魔物が入り込まぬよう見守っている夫婦神がいる

(エチリリケクル 男神、エチリリケマツ 女神)

軒下に棲み地震や台風から家を守ってくれる夫婦神がいる

(チセパンノキアンパカムイ・男神 チセペンノキアンパカムイ・女神)

便所の神(危険がせまるといち早く駆けつけて助けてくれる)がいる

(オツカヨル男の便所。メノコル女の便所)

最近の鉄筋コンクリートの建物には耐震、セキユリテイ、災害保険一式完備
定年後まで生活が保証された種族が棲む



もはや神々の必要はない

自然現象の全てに神を感じ畏敬^{いけい}するのは

科学・^{きようてん}經典を持たない未開人の特色である

同じ宗教でも唯一の創造神を崇^{あが}める一神教は多神教より勝れているという

既に遺伝子で構成された生命のメカニズムも判明した

天体は想像を超えて広大であるが無機物の構成物である

家の中に語りかける人は去り既に神々はいない

自ら命を捨て孤独死する人が絶えない

神々が消えた後には人間も消えた

造られたものにはそれぞれ姿があるが創造主には姿がない

「天に座する者 嗤^{わら}い給わん」

人の世の愚かな論争に神は悲しみ嗤^{わら}う ※

ここはもはや人の棲む世界ではない

「帰ろう」

アイヌ・ネノ・アン・アイヌ（人間 らしくある 人間）の世界へ



青い空がいい

曇りの日があり雨の日もある

心も暗い日が続いたあとで

青い空が出るとホッとする

青い空には白い雲が似合う

雲の話し相手は空だ

子供が母に話すように何でもいい

青い空は昔からあつた

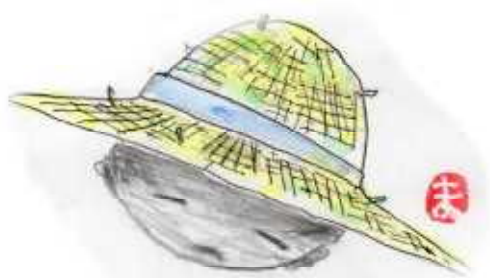
私が見た美しい空には幾つかの記憶がある

少年の日修学旅行にいけず

一人野原で眺めていた青い空

七十数年前この国が初めて戦に敗れた日

天皇が申し訳なさそうにラジオで国民に告げた



その日も美しい夏の青空だつた

この空の下にかつて恐竜がいた

青い空の下で幾つもの戦争があり現在いまも続いている

大地は多くの怒りと悲しみの血を吸い屍しかばねを隠してしまう

もの云わぬ無数の墓標が朽ちる時を待つ

苦悩は人の額にはシミを残すが空は偉大だ

時おり全天を暗雲で覆われるが一夜にして蘇りよみが

シミもキズもない太古の空に帰る

一度壊れた陶器は戻らない

一度ついた名画のシミは消えない

人の世の財宝は全て虚しいものばかり

例え銅像になり岩に刻まれても 得るものは何か？

一片の雲となり青い空と話していたいとおもう



旅の途中で

人はみな旅をしている

旅費のない人も 病気で寝ている人も

皆地球という地面ごと動く宇宙船に乗っている

この乗りものの速度は新幹線より早い

地球は自転速度が時速1600km

公転速度は11万km 太陽系が86万km

そして銀河そのものも200万kmで移動しているという

巨大系になればなる程早くなるのは何故だろう

みな何かに追われているのだ

銀河鉄道の窓から見れば星空の世界も平和ではない

射手座はサソリを狙い

獅子座は棍棒を振り上げたオリオンに追われている

私は無人駅で下車する



「私を覚えていますか」出迎えたのは俯いている一本のひまわり

待ち草くたび臥れてしまったのだ

この世界は巨大にして虚しいものばかりだが

砂漠に咲くサフランがある

砂の中にも輝くものがある

人は誰かに出逢う為に移動する

そして別れる為に移動する

子供が走るのは未知なものに早く出会いたいためだが

老人が立ち止まりゆつくり歩くのは名残を惜しむため

もう一度出逢いたくないものがあるからだ

消えるために生まれるものがある

掌の雪の結晶　フェアリーの贈り物　人の笑顔　涙　忘れられない言葉

消えるもの　立ち去るものは皆美しい

夏の朝私は海の色をした一輪の顔顔に出逢った



蝉が消えた夏

人の世界は高齢者でも亡くなればニュースになります

今年の同窓会の話題です

「オーシンツクはどうした？」

元氣者の油蟬が見えません

「そういえばカナカナがない！」

日暮れになると一声高く哀しげに鳴きだすソロ歌手がいません

小さな生きもの達は黙つて旅立つので誰も気づかないのです

ツバメや雀が少なくなつたのは昨年の話でした

田んぼにイナゴがいてひげなへ叢には馬追やうまお轡虫くわむしがいたことがあります

風鈴売りがいて夕暮れには豆腐売りのラッパが響いた昔です

今でもホタルやオミナエシは童話の絵本で見られます

赤トンボやヒバリは秩父の山奥にいけばまだいるといえます

みんな少しずついなくなるので気がつきませんでした



でも七年以上も闇の中で夏を待っている蝉は別です
都会育ちの若者が駆除くじよしろと言うくらい音量です
今年はその蝉が土の中からでてこないのです

誰かが立ち去ったあとやってくる侵入者がいます
外来種はカタチは似ていても毒性があります

近くの沼から蓮の群落が消えました

蓮の根を食い荒らしたのは巨大化したミドリ亀です
かつて深山に棲んでいた白鼻ハクビシンは今や人里の害獣です
動物園にいたアライグマは住宅地で繁殖し凶獣です

人の世界にも透視すると異形いぎようの者達りんこうがいます

誰でもいいから人を殺したい少年の燐光りんこうを放つ目

議会で緑色の触手しよくしゆを踊らせ喚わめき立てるインベーター

因みに関東大震災の年の七、八月は蝉が鳴かなかつたという ※

虫の知らせです

やがて赤トンボのいない秋が来ます



絶滅危惧種きぐと繁殖危惧種

今日本には日本狼やコウノトリはいません

いつのまにか消えてしまったものを絶滅種といい

そして絶滅が近いものを絶滅危惧種といいます

ホタル イナゴ キチキチバツタ

オケラ スイツチヨ ガシャガシャ その他大勢です

昆虫だけでも半世紀で千種以上が消えています

絶滅は加速的で環境汚染が主因とされ

彼らは山村さんそんで暫く生き延びていますが

やがて伝説の世界へ消えていきます

あの世の出発ロビーにはこの世界からの移民が昼夜並んでいます

一方都市部ではおよびでない者達が繁栄しています

繁殖危惧種(仮称)といいカラスやドブネズミやクマネズミです

ゴキブリは恐竜がいた三、五億年前から健在です

羽を飾り美声を工夫するなどの無駄を思わず

ネズミや蚊のように病原菌を運ぶこともないのですが

初対面の印象が悪く人類に嫌われながら繁栄を続けています

絶滅種、繁栄種の流れは人間界も同じです

理由もなく誰かのために生きている人がいます

落し物を届ける等は日本では当たり前の人種だったのですが

ムカシビトは準絶滅危惧種になりました。

幸いまだ私の周囲にその類の個体数が確認されています

明るいニュースがあります

アホウドリは環境汚染ではなく明治時代乱獲らんかくによって絶滅したが※

生きのびた数十羽が現在四千羽以上に回復しているといえます(絶滅危惧種Ⅱ類)

この鳥をオキノタユウ(沖の海に住む神の使い)と呼ぶ人がいます



第一志望 魔法使い

毎日人の顔を見て暮らしています（自分の顔を見るのはヒゲを剃る時だけ）
時々見たくない顔もあります

TVの常連でもすぐCH（チャンネル）を変えてしまいます

暗い顔が明るくなるの、いいです

泣いている顔が笑いだすのが好きです

僅かなことで喜ぶ人は私の友達です

ある日のお稲荷（INRI）さんのお告げです ※1

「自分相応。小さなことで他人を喜ばせる事を考えよう」

「OK。でも時々私を魔法使いにすると喜ぶ人が増えますよ」

ー私が使いたい魔法の内訳ー

「痛い痛い飛んで行け」というとたちどころに痛みが消えます／

／食べたいものがみな美味しく食べられます／胃^{いろう}痙^{けい}の方へ

／歩けない人が歩け、見えない人が見える／若者には恋人を／



／亡くなった方に逢いたい方、一度面会室で逢わせて上げます／
／人並みが不満な人がいて人並みであれば嬉しい人がいます／
独りで高級車に乗り高級ホテルに泊まるより

二人でボロ車に乗り家族で民宿で泊まって幸せな人がいる

贅沢の部

鼻が1 cm高くなる／背が10 cm延びる／10歳若く見える／

みな山や木が移動するより簡単なことです ※2

人に痛みを与えると痛みが十倍になって戻る魔法もいいな

神さま 私は不備だらけですが賞味期限なのでこのままでいいです

休肝日をもう一日増やしますから時々そんな神通力を下さいませんか

杜子春も人間界から足を洗いたいと願いましたが断られました ※3

聖書には誰でも信じる者は山でも木でも移動できるとあります

そんな途方もないパワーで無くていいのです

月一日くらいでいいです

みんなどんなにか喜ぶでしょう



盆踊り

科学は遅れている

時空は幻に過ぎず世界は想念で出来ていること
傍にいても遠い世界にいて

遠くにいても何時も傍にいる人がいることを

人は相対性理論や量子論の遙か昔から知っていた

世界はいろいろある

昔は三千世界といったが科学用語では多次元世界という

同じ日にゴッホの夕焼けと谷内六郎の夕焼けがある

キリスト教では亡くなった人は天国に行くまで逢えないが
仏教では年に一度お盆には逢える

心がこの世界にあるものは迎え火を目当てに

八月十三日 十万億土から一飛びで時空を超えて来る

亡くなつた人が小人になつてナスやキウリの馬で飛来^{ひらい}するのは
仏壇の家が小さいからです

お盆に帰つてきた人達はこの世の人には見えないが
小鳥や金魚、犬や猫には見えます

それで蝶になつて部屋の中に入つてきたり

夕方になると蝸^{かみゆひ}になつて呼びかけたりしている

みんな元気にしてるカナ

困つたことはないカナ

寂しくはないカナ カナ カナ …

この世に来て入る家がない人達がいる

再婚して幸せな前夫や前妻を見た人である

愛する猫と多忙な生活^{くらし}をしている妻を見た夫である

記憶の薄れた人は来年からもうこの世には来ません

忘れられた人たちは盆踊りの輪の中に交じり

顔を隠して踊っています



私の友人達

狭い世間を生きています

それでも友人は沢山います

この世には幾つもの世界があるからです

一米四方の叢むくみには百万以上の生きものがいます

敷石の下にも大きな虫の町があります（覆くつせば分かります）

河向うでも望遠鏡を向ければ江戸の人達が見えます

心残りな人ばかり住む藤沢周平の世界です

おしんさんが氣丈きじょうに生きてます

幸薄さちうすいおもんさんがいます

浪人の剣客、よろずや平四郎がいます

手紙を出そうにもみな下番号がない人達です

今朝、隣家の垣根から「お早う」という小さな声がしました

赤紫の朝顔が私を見ていました



階段隅に巣を張る蜘蛛に声を掛けました

「そんなところでよく暮らしていますね」

雌を従えゆうゆうと歩くキジに問いかけました

「どこの大学を出たのですか」

見事に咲いた白百合に問いかけました

「化粧品は何をお使いですか」

立止まっている蟻に問いかけました

「老後の蓄えはありますか」

姿形で損をしています but ゴキブリや蠅や蚊を駆除する

ハエトリグモやアシダカグモにたずねました

「現在のお仕事をどうおもいますか」

フト、私はそういう自分は誰かと気になりました

みなそれぞれの夢の世界に生きています

私は誰かの夢だったような気がしています



夢の世界

蝶は花の夢を見ている

野の鳥は月の夢を見て眠る

私は私の夢を見ている

毎夜気が付くといつか寝ている

寝ている間自分は何処へ行っていたのか

その間の記憶が欠落している

異次元の夢の世界に迷い込むことがある

目を開くと夢は掌てのひらの雪のようにみるみる消えてしまい

何の夢か思い出せない

切れ々に覚えていることがあるが

掘り起こされた土器かけらの片の原型は不明だ

リアルな夢もある

この世にも美しいものがあるように



夢の世界にも（深海や洞窟のように）不気味なものがある

夢の世界は荒唐無稽なことが多いが

この人の世界も多分に奇怪なことがある

人の形をした獣が町中を歩いたり

愚かな者が好んで上座に座る

何時も何処かで無惨な事が行われている

人はみな土に消えるがそこは入り口にすぎない

去つたものはまたどこかで産声をあげて戻ってくる

眠りにつくのを待っているものがある

髪を解く女の影がある

忍者のように走り去る影がある

夢の世界は想いがつくる

醜いものは花になあれ

哀しいものは虹になあれ

何処かへ行きたいものは鳥になあれ



ごめんなさい

美しいものは曲線でできている

花も葉も果実も

野の道も川も山並みも海岸線も：

自然はみな美しい曲線で造られている

建物も道路も人の作るものは直線が多いが

何でも凸凹おうつが無いの*が*いいわけではない

コンクリートで護岸された河川からは生きものが消える

女性の胸などは多少出ていたほうがいと云われている

さいたま市三室みむろの「山崎の大ケヤキ」は道路の中央にある ※

古木の高さは三十米、根回り十米。中央分離帯がこそこだけ大きい

元 個人宅の玄関にあったものというが

市の文化財であり地域のランドマークになっている



蓮田駅の路線バスの終着に東埼玉病院がある

この度^{たび}病院内の道路が^{かくふく}拡幅されることになった

広い道路ができるが途中の古い桜並木も伐採^{ばっさい}される

遊歩道にある白い曼珠沙華^{まんじゆしやげ}の群落も消える

バスの終着点に大きなクヌギがあつた

改めて見上げた人が感嘆した

高さ二五米 枝張り二二米の見事な大木であつた

保存したいと一群の人間がその筋に陳情したが

歴史的意味も無く

野鳥の宿に過ぎない樹木は伐採されることになった

想えばここは国立病院の敷地内である

時折助からないと医師から宣告される方がいる

白い曼珠沙華を植えた人達は落胆して呟いた

「ごめんなさい。あなたを守ることができなくて…」



追補

自分への説教

5頁 ※ 孟母三遷の教え。始めお墓の近くに住んでいた孟子は葬儀のまねごとをしていた。

孟子の母はこれはまずいと次に市場の近くに引っ越したところ駆け引きのまねごとを始めた。子供の教育は環境が大事と次は学校の近くに越したところ礼儀作法をまね始めたので、やれやれ子供には教育環境が大事と確認した。

孟母は教育ママの元祖である。

忍法自分消

7頁 ※ 関東地方の幼児語。汚れたものを忌み嫌う言葉。

お変りあります

9頁 ※ 骨は3年から5年で細胞が入れ替わる。血液は四ヶ月。胃は五日。筋肉は二ヶ月。小腸は二日！

大悲

18頁※1 八大地獄の一番責め苦の厳しい場所。自殺は何と殺生、盗み、邪淫、飲酒、妄語、邪見、犯持戒人、父母・阿羅漢（聖者）殺害をした者と同罪である。

※2 釈迦の十大弟子のナンバーワン。最も多く聞き理解し「多聞第一」といわれた阿南（アーナンダ）は自分の死後遺骨の争奪が行われることを憂慮しガンジス川の船の中で焼身自殺している。

※3 ① 七つの大罪に自殺は入っていない。キリスト教において自殺が罪であるとされたのは四世紀以後だと



いう。

※3 ② 秀吉のバテレン追放令の当時。細川忠興の妻、洗礼名細川ガラシアはカトリックでは自殺が禁じられていたので家臣に槍で胸を突かせて死んだ。キリシタンの処罰が残忍を究めたのは信徒が自ら命を絶つことが出来ないでそれが為政者のサディズムを増長させた。

19頁

※4 人工知能(Artificial 人為的な、偽りの、気取った、うわべだけのIntelligence知性 AI)のこと。AIが将棋や囲碁の世界で圧勝し、車の自動操縦も可能になったということで、もう人間は要らなくなるのではという不安と賛嘆の声を聞きます。AIが人間ができなかった人間社会の問題を解決してくれるなら素晴らしいことだと思いますが、与えられた情報処理が人間を超えている部分は瞠目すべきことですが限界があります。AIを国会で取り入れお告げ聞いたらスムーズにいくでしょうか。心ある人間を感嘆させる俳句一句つくれるでしょうか。

発見

27頁 ※ 選者 俳句、短歌は根強い日本の固有の文化である。朝日新聞にも読売新聞にもそれぞれの俳壇、歌壇があり、毎週月曜日、選者四人により十篇ずつ入選作が発表される。物理的客観的基準でなく、それぞれの分野の大家の主観に依るものなので、差異があるのは当然であるが二人共通は希で、三人共通は希有である。ましてや四人共通して賞賛される作品は見た記憶がない。さらに、それぞれの新聞社にはそれぞれのカラーがある。私の



知人で人付き合いのよい方がいます。新聞は通常の四大紙を交番でとり、その他、イデオロギー色が明らかに違う共產党機関誌と創価学会の新聞とを購読し、時折(ものみの塔)のパンフレットがテーブルの上に散見される。さまざまな業界の視点にたち情報收拾しているのかとイタク感嘆し尋ねたら殆ど目を通していないと告白した。奇特定の方なのである。

専門分野において学位があり、評価があり講師である人達があります。同じ分野の専門家でも互いに特色があるのは理解できますが私達一般庶民が困惑するのは同じ分野の専門家が真逆の結論を持つている場合です。そんなことも希にあるかではなく、私感によれば全ての分野に於いてです。

タンポポ

31頁 ※一瞬にして十万人以上(広島市の当時の人口35万人。四ヶ月以内に死亡した人16.6万人) 原爆の無差別爆撃は第二次大戦を終結するために止むえなかつた。この大量破壊兵器を使用しなければ更に多くの人命が失われた。というのがその後の米側の論理である。もしそれならば原爆投下後「どうだ、見たかな凄い兵器だろう。改めて停戦交渉に応じるか」と打診があり「一週間くらい待つので考えてくれ」というコメントがあつてもよかつたのではと思う。ところが、間をあげずその三日後計画通り長崎市にさらに破壊力のあるプルトニウム爆弾が投下されたのである。死傷者は人口24万人のうち7.4万人であつた。当日の天候の都合で長崎が被爆したが第一候補の小倉市(北九州)が被爆していたら広島を超える大惨事になつた筈である。長崎市は戦争の終結手段とは口実でウランニウム爆弾に次いでさらに破壊力が予想されるプルトニウム爆弾の人体実験の場にされたのである。



日本人は韓国、中国人と比べて度量が大きいか、忘れっぽいかの何れかである。敗戦後七十年以上の時が経過して同盟国であるだけではない。芸能界の全てではないが日本を恥じ、あえてガイジンのカタコト発音で歌う芸人が続出した。最近も社会、政治問題において芸能人がコメンテーターをつとめる平和な国なのです。

鷺の目

32頁 ※1 鷺と鷹の差は違いは大きさ。因みに大鷺の雄八十八cm。雌百二cm。鷹の雄五十cm。雌六十cm。目つきの悪いとんびは鷹科である。

33頁 ※2 サイコパス。俗称エライさんでココロの冷たい人のことです。文春新書【サイコパス】脳科学者へ中野信子へより。何故か社会の上層部に कोरोニーをもつ。「…サイコパスの治療は難しく、近所の精神科に通うレベル(草津の湯でも)ではとうてい直すことは不可能です」著者。

サイコパスの多い職業ベストテン。①企業の最高責任者。②弁護士。③マスコミ。報道関係者。④セールス⑤外科医⑥ジャーナリスト⑦警官⑧聖職者⑨シェフ⑩公務員

サイコパスの少ない職業①介護士②看護師③療法師④技術者、職人。⑤美容師、スタイリスト。⑥慈善活動家、ボランティア⑦教師⑧アーティスト⑨内科医⑩会計士。(オックスフォード大学心理学博士ケヴィン・ダットンの調査資料による)

※3 世界的ボランティア団体ライオンズクラブは Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety、自由を守り、知性を重んじ、我々の国の安全を図るの意。LIONSの「文字」を取り入れたもので百獣の王ライオンとは無



無縁なのだが組織の発展のため世俗性を考慮し、猛獣ライオンの姿を旗印とした。創設者のメルビン・ジョーンズは教員であつたが世俗社会を知る保険業であつた。クレイ事だけでは大きな奉仕団体を組織維持するのは難しいと知つていた。

※3の2 国旗が花である国がある。香港・**バウヒア**。中国の特別行政区マカオ・**蓮**。いずれも小国である。

アイヌ ネノアン アイヌ

37頁 ※ 青年期。若者の美学は唯物論であり左翼思想であつた。ピンは大学紛争にエネルギーを発散し、キリの私は巷の唯物史観の勉強会に顔出し、時にはぎこちなくスクラムを組んでロシア民謡や労働歌を歌つた。たまたま趣味の天文関係の本を見たら著者は大宮駅の近くに住んでいた。尋ねたらマルクスが嫌いな牧師であつた。過去キリスト教の教会は多少の経験はあつたが坂本牧師はユニークな人物だつた。SFを書き星新一のお仲間だつた。旧約聖書にはUFOに記録があることなど、惹かれるものがあつた。水彩画が見事だつた。朝日新聞の記者をしていたことがあつた。仏教にも造詣が深かつた。無知のあまり自営業を始め金に追われ、時間に追われ、垢ジミクな服装で暫く通つた。あるときナマイキにも論争の果て（雀対大鷹の図）義絶した。坂本牧師は温厚な人柄であつたが左翼思想にアレルギーがあつた。当時私はレーニン（冷忍）とかクロパトキン（黒鳩菌）にややイカレていたので激高をかつたのである。その坂本牧師との会話の中で聖書の中の言葉「天に坐する者嗤い給わん」の解釈を聞いた。神はただ嗤つたのではない。悲しんだのだ。

坂本牧師との出会で記憶に残る幾つかの言葉があります。ラテン語は素晴らしい。音楽的だ。「虚無からの創造」



は(クリーエート フォ ヒロソフィ)と言うんだよ。アイヌ ネノ アン アイヌ(人間らしい人間)に同じ響きを感じます。

蝉が消えた夏

43頁 ※94年前(1923)・91 関東大震災の夏。1707年の宝永地震の時も蝉が鳴かなかつたという記録がある。

絶滅危惧種と繁殖危惧種

45頁 ※

自然界の生きものは環境変化により次第に消滅するものがあります。恐竜やマンモスが滅んだのは自然環境の変化です。一方人為的環境汚染は文明という予期せざる副産物で止むを得ない面もありますが、明らかに人間の暴挙、愚行が原因だというのがあります。

その一例は羽を広げると最大2.4mになるという北太平洋最大のアホウドリのことです。明治21年(1888)羽毛目的で東京から600kmはなれた鳥島とりしまに上陸した玉置半右衛門(銅像になっている)の玉置商会によつて乱獲されました。アホウドリは陸上での動作が遅く人間に容易に捕獲され 明治20年(1887)から 三十六年間に鳥島だけで五百万羽以上乱獲されたといえます。絶滅宣言されたのは第二次大戦(1939～1945)後の1949年伊豆島から小笠原諸島までアメリカの鳥類学者によつて十日間調査された結果でした。1933年アホウドリ保護の鳥島は禁漁区となりましたが、その情報を耳にした業者がかけこみで三千羽捕獲されたといえます。



その後、山階鳥類研究所の山田信夫博士が再び鳥島を訪れたときは数十羽迄激減していたと云います。その後山階鳥類研究所その他多くの方の尽力により現在四千羽を超えるまで回復したといえます。

ところでアホウドリという和名のことです。アホウドリの調査、保護に尽力してきた一人の、東邦大学名誉教授の長谷川博氏の言葉です「伊豆諸島の鳥島で1979年以後39年間、この大型で美しい海鳥を見守ってきた。ばくは、もう「アホウドリ」などと軽蔑した名前ではなくなった。オキノタユウ（沖の太夫ー沖の海にすむ神主のような鳥）と尊敬の念をこめて呼ぶことにした」

因みに英名は Short-tailed albatross. 「アルバトロス」はゴルフアなら知らない人はいない。

（漢名）では信天翁 （高知県）藤九郎 （山口県） オキノタユウ 太夫の蛇足。言葉は時間経過とともに変化してゆく。分かりやすく、俗化しながら、時には本来の意味とは違ってしまふことさえある。

「おまえ」「きみ」語源はともあれ現在目下の者に使う言葉。「やばい」は本来逆の意味で使われていた。

江戸時代（具合が悪い）（あやうい）などの否定形で使われてきたが、1990年代より「凄い」という感嘆詞に使われ、若者用語としてその場の雰囲気肯定形否定形双方に使われ辞書では收拾のつかない造語になった。

現在太夫や花魁は死語である。長谷川博氏がオキノタユウがいい、と言う太夫は吉原用語の太夫ではない。またいずれも古い例だが強欲な資産家の山椒太夫の太夫とも違う。太夫の本来の語源は神職の意味である。

第一志望 魔法使い

46頁 ※1 お稲荷さんはキリスト教と無縁ではない。フラアンジェリコの聖画「磔刑」の標識にINARIの木



札があるI・N・R・Iは。ラテン語で「ユダヤの王ナザレのイエス」のイニシャルだという。その他関連少なからず。

47頁 ※2 マタイ伝17:20 からし種一粒ほどの信仰があれば山も動く

※3 杜子春は仙人鉄冠子に二度も富豪にしてもらったがこの世の栄華が儚い事を知る。そこで気づいたのがお金とか地位とか移ろい易い一つのものでなくいつでも思えば何でも叶えられるオールマイティの仙術である。鉄冠子は何がおきても声を出さなければそれを叶えてあげると約束する。杜子春は地獄で老いた母が鬼に責められている画像を見せられて遂に声を出してしまう。舞台裏から急に現れた仙人の言葉「声を出したな。ザンネンでした。」「でも、もしそれでも声を出さなければおまえの命を絶つてしまつつもりだった」鉄冠子は最初から杜子春の願いをきくつもりはなかったのだ。深読みをすれば観念の即現実化の能力を与えれば意識下の悪霊が目覚めて大きな災いを起こす可能性を危惧したのかもしれない。(1956年SF映画「禁断の惑星」のテーマ芥川龍之介の「杜子春」は中国の古典、鄭還古の『杜子春伝』を童話化したもの。真偽の程は原作者、翻訳者の芥川龍之介等関係者を予算委員会に喚問し事実関係を究明する必要がある。鉄冠子には詐欺の疑いがある。

ごめんなさい

54頁 単調な直線道路は事故を起こしやすいので、注意標識を設置したり敢えて路面に溝を刻み車に振動を与えたり、凸面状のものを設置してある場所がある。「山崎の大ケヤキ」は進路正面にあり減速して迂回するようになる。人の生き方でも減速や回り道した人の方が面白い。





私家版 詩画集 「まあだだよ」

発行日 平成二九年九月七日 今日から仲秋（白露）

製作 手作り出版社 〒349-0101 蓮田市黒浜3111の2

書いた人 山上 村人 戸籍名 大畑 善夫